臨時休校５月末までの延長で考えるべきこと

令和２年４月30日／村上

◆ 年間授業計画の再構築（仮構築）

◎ 夏季休業・冬季休業，土曜日を活用した場合の課業日数・授業時数の見通し（行事等調整）

◎ 各科目の授業時数の見通し

◆ 学習評価の年間計画の再構築（仮構築）

◎ 年間評価計画の吟味

◎ 臨時休校中の課題等の評価に係る扱い方整理（方法，評価ウエイト等）

◆ 生徒対応 ・・・ 局面的にはG Suiteへの登録を進めて，活用を図るのが妥当

◎ G Suiteへの登録促進

＊対応部署の特定・仕組みの確立

＊９割以上の登録・活用が潮目　⇒　未登録者への対応方針・フォロー方針の「見える化」

◎ G Suiteの活用方策の検討

＊健康観察等の日常確認

　　　 ＊学習支援　⇒　先進的なオンライン授業の取組が行われている学校もあるが，自校としてすべきこと・

できることを明確にしながら組織的に着実に進めることが肝要

⇒　〇　G Suiteによる課題等指示と解答等返信

　　　　　　　　　　　　　　 〇　学校のホームページによる課題等指示と解答等返信

　　　　　　　　　　　　　　 〇　長期課題・学習の仕方指示に基づく日々の取組状況報告返信

　　　　　　　　　　　　　　 〇　授業コンテンツの配信 ・・・ できるところは工夫して行う

◆ 教員体制の再構築

◎ 自宅勤務における連絡体制も含めて情報共有の仕組みづくりを行う

＊個人のスマホ等を活用する場合は，管理職の関わりの在り方はルール化が必要

＊教員相互の情報共有は，本人同意を前提に無理のない範囲でSNSグループを活用するなど工夫する

　　 ◎ 組織体制整備　⇒　整備体制の「見える化」

　　 　＊授業計画・評価計画等は教務部が担当

　　 　＊G Suiteの登録促進・確認の部署や担当者の特定（複数）

　　 　＊G Suiteの活用方策の検討・推進の部や担当者の特定（複数）

　　 　＊生徒への対応体制の構築

〇 自宅勤務で学校不在者を前提にした生徒対応の体制整備

〇 自宅勤務で生徒集団への対応が可能な仕組みづくり

◆ 対応スケジュールの「見える化」

◎ いつまでに何を整えるか，実行するかの「見える化」

◎ 分散登校・部分登校の仮シミュレーション（必要な状況になるか，どうか？）

◆ 学校再開後の実際の感染予防の学校生活ルールの明確化

◎ ４月の再開時の経験を踏まえて，学校としての学校生活ルールの「見える化」

＊授業時・集団行動時・会話時等の場面ごとの距離感の数字設定等をルール化して生徒も教員も同じルール

で対応することが必要